

アサヒペン

これは便利

ガス抜きキャップ付

人と環境にやさしい



ノンホルムエン ノンキシレン
シックハウス症候群の一因とされる
トルエン・キシレンは配合していません

New 使いやすい
パターン変更ノズル付

ラッカーエナメル調
高光沢タイプ (ツヤ消し色は除く)

多用途 水性スプレー

用途：鉄、木工品、発泡スチロール、
プラスチック（一部を除く）、ガラス、
コンクリートなど

消防法上の
非危険物

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

乾燥時間 標準塗り面積 (2回塗り)

夏期/40~50分
冬期/1~2時間

0.6~1.0㎡
(タタミ0.4~0.6枚分)

300ml

使用方法・注意書きをよく
読んでから使用して下さい。

商品名 水性多用途スプレー
成分 合成樹脂塗料 (水系)
成分 合成樹脂 (アクリル)、顔料 (透明クリア・ツヤ消し
クリアを除く)、水、有機溶剤

使用方法

1. 塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等を取ります。
2. 塗り終わる際は、スプレーヘッド等をきれいに拭き取ります。
3. 使用する前に、容器を逆さにして十分に振り回す (かくはん) すること。色の混ざり具合が揃ってから約30秒間、よく振ります。使用中もときどき容器を振り回して中身をよく混ぜます。
4. 塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は15~25cmの間隔をとります。
5. 目立たない部分で試し塗りをして色・噴射の状態、乾燥性・下地への影響・密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。
6. 一度に厚塗りしないので、塗る面と平行に移動しながら、ややすめにもんぺんなく2~3回くり返り塗り重ねます。一度に厚塗りすると塗れずることがあります。
7. 使用後は、噴出口がつかまらないよう容器を逆さにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法

乾前には、水で洗って下さい。
乾燥後は、ラッカーうすめ液で洗って下さい。

保管上の注意

① 幼児の手が届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食したずらをしないように注意して下さい。② 中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

危険



- 引火性あり ● 皮膚に接触すると有害 ● 吸入すると有害
- 皮膚刺激 ● 強い眼刺激 ● アレルギー性皮膚反応のおそれ
- 臓器の障害 ● 脱気やめまいのおそれ ● 水生生物に毒性

救急処置

● 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。● 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とす。痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。● 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

非危険物 (指定可燃物) 100ml/火気厳禁 (A-067)

廃棄する際のガス抜きキャップの使い方

注意事項

- ① 必ず中身を使い切ってから行して下さい。
- ② 火気のない屋外で行って下さい。
- ③ 塗料が飛び散っても産生しないところで行って下さい。
- ④ 容器が破れないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法

- ① スプレーから押しボタンを引抜きます。
- ② キャップの内側にディッシュペーパーを5~6枚詰め、セロハンテープで厚がならないように止めます。



取扱上の注意

① 表示の用途以外には使用しないで下さい。② アクリル・硬質塩ビ・ABS・スチロール以外のプラスチックや、自動車・バイクの補修、食器や食品に直接塗れるもの、高温になると、新しいコンクリートやモルタルには適しません。③ 体調の悪いときやアレルギー・化学物質に敏感な方は使用しないで下さい。④ 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑤ 取扱いは必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋 (ポリ手袋など塗料が透過しないもの) を使用して下さい。炎症を起こすおそれがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また吸い込んだり、目に入らないように注意して下さい。⑥ 有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中にも換気をよくして下さい。⑦ 塗料を吹きつけるときは、人物やかからないよう注意して下さい。⑧ 塗料は桶形に噴射されますが、塗料の出る青い部分を回すことによって縦型にも横型にもかけられます。⑨ 容器を逆さにした状態で吹きかけできません。⑩ 表示である色は、実際の色と多少異なることがあります。⑪ 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。⑫ やむをえず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑬ 容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を十分に抜き、他のゴミとはきり別けて捨てて下さい。⑭ 容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので、取扱いは十分に注意して下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
① 炎や火気の近くで使用しないこと。
② 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。③ 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④ 火の中に入れないこと。⑤ 使い切って捨てること。
高圧ガス:DME

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

キャップ: プラスチック (PP)
フィルム: プラスチック (PP)
ボタン: プラスチック (PE)
容器: スチール

日本製
01-1506